

【十勝産業振興センター・技術セミナー】

もっと使いこなそう SolidWorks2010

『3次元 CAD 講習会～応用モデリングと構造解析入門～』

受講料: **無料**

申込書付き

十勝産業振興センターでは 3 次元 CAD・SolidWorks の基礎的な操作方法を習得している初・中級者の技術者で、3 次元 CAD を更にもう一歩使いこなしたい方々を対象に高度なモデリング操作と基本的な構造解析シミュレーションを行うセミナーを開催します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として受講者は 3 名までとさせていただきます。

1. 実施日・時間など

令和 3 年 11 月 30 日～令和 4 年 2 月 22 日(毎週火曜日、全 12 回+予備 1 回)

各回 18:30～21:00

2. 会場

十勝産業振興センター 設計デザイン開発室(帯広市西 22 条北 2 丁目 23 番地 9)

3. 定員および受講料

定員:3 名(応募多数の場合、先着順になります。また 1 社複数名の参加希望がある場合は状況次第で別途、ご相談させていただく可能性があります。)

受講料:無料

4. 講師およびカリキュラム

講師:ものづくり支援部 十勝産業振興センターグループ 研究員 西條大輔

カリキュラム:次項詳細をご覧ください。

5. お申込先・方法と締め切り

① 申込み先

〒080-2462 北海道帯広市西 22 条北 2 丁目 23 番地 9 十勝産業振興センター

TEL:0155-38-8850 FAX:0155-38-8809 E-MAIL:saijo@tokachi-zaidan.jp

② 申込み方法

FAX・電子メールにて受け付けます。

③ 申込締め切り

令和 3 年 11 月 24 日(水) 〆切

6. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

① ソーシャルディスタンスを確保するため定員を 3 名とします。

② 座席間にはパーティションを設けます。

③ 受講者の方々には手指の消毒とマスクの着用をお願いします。

④ 講師はフェイスシールド、あるいはマスクを着用します。

⑤ 休憩時間に室内の換気をします。

- ・ FAXにてお申し込みの方は下記の申込書に必要事項を記載の上、このページをお送り下さい。
- ・ E-Mailにてお申し込みの方は saijo@tokachi-zaidan.jp まで『企業名』、『参加希望者氏名』、『連絡先』を記載して送信願います。
- ・ 締め切り後、受講の可否等について担当者より直接ご連絡させていただきます。

**3次元 CAD 講習会  
参加申込書(FAX用)**

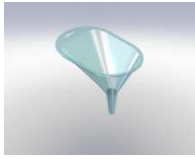
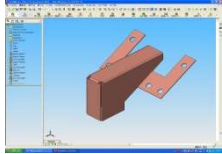
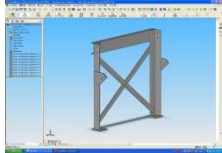
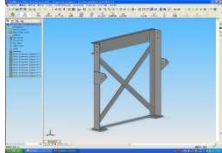
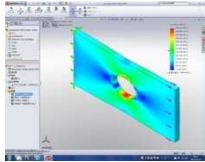
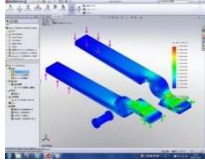
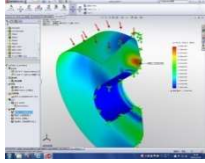
次の通り参加を申込みます。

送信先:十勝産業振興センター 研修受付担当 行 FAX:0155-38-8809

<b>企業名等</b>	
<b>参加者氏名</b>	
<b>連絡先</b> (Tel,Mail,Fax)	

※切り取らずにこのまま送信願います。

講習内容:—講習内容の詳細—

	履修項目	
応用モデリング	<b>1. はじめに(0.5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本モデリングのおさらい</li> <li>応用モデリングへの拡張性</li> </ul>	
	<b>2. モデリングテクニックの応用(10.0h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>マルチボディ</li> <li>スイープ、ロフト、3D スケッチ</li> </ul>	ロフトモデル 
	<b>3. 板金(5.0h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>板金フィーチャーとは</li> <li>展開図、部品から板金への変換</li> <li>アセンブリ参照による板金モデリング</li> </ul>	板金モデル 
	<b>4. 溶接(2.5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>溶接フィーチャーとは</li> <li>鋼材レイアウト</li> </ul>	溶接モデル 
構造解析編	<b>1. 構造解析編・はじめに(0.5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造解析とは、SolidWorks Simulation について</li> <li>材料力学と有限要素法、応力とひずみ、安全率</li> </ul>	
	<b>2. 解析プロセス(2.0h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>線形静解析のスタディ作成、各条件の設定、解析実行</li> <li>解析結果の可視化、解析結果の評価、レポート作成機能</li> <li>メッシュコントロール</li> </ul>	
	<b>3. アセンブリ接触解析(5.0h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>アセンブリ部品静解析の準備、モデルの修正</li> <li>接触定義(ボンド接合と接触モデル)アセンブリ作成の注意事項</li> <li>対称境界条件、解析結果の評価</li> </ul>	
	<b>4. 薄肉構成部品の解析(2.5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソリッド要素とシェル要素</li> <li>シェルメッシュの作成と解析</li> </ul>	アセンブリ接触解析 
	<b>5. 疲労評価とデザインシナリオ(2.5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>s-n 曲線を用いた疲労評価</li> <li>デザインシナリオによる最適設計</li> </ul>	シェル解析 